

# 創立当時の様子

一九四八年（昭和二十三年）

三月三十一日

「六・三・三」の新学制の発足により、「新制石川中等学校」が誕生。同時に大洋初等学校と石川実業高等学校が廃校となる。

初代校長長嶺朝昂氏、教頭具志幸善氏。四初等学校（伊波、城前、宮森、大洋）から職員二十六名を集める。

## 【大洋初等学校】

一九四六年（昭和二十一年）城前、宮森両初等学校の在籍が増加したため分離してできた学校。創立当時の所在地は石川ビーチ内にあったが、後に中央倉庫敷地跡（現 石川中）に移転。初代校長宇座信篤氏

## 【石川実業高等学校】

一九四七年二月、県内に二十五校設置された高校の一つで、南栄通りにある石川教会入り口にあった。初代校長長嶺朝昂氏

四月八日

廃校となった大洋初等学校の跡地に石川中学校開校式挙行。

伊波、城前、宮森、大洋初等学校の七年生、八年生、九年生が、そのまま新制中学一年生、二年生、三年生に、さらに石川実業高等学校から一部の生徒を編入して在籍一一〇名。内訳一年生（四〇〇名）、二年生（四二九名）、三年生（二五八名）、研究科（二十三名）



1950年代の校舍遠景